

令和8年度 年間指導計画・評価計画 【3年 国語科】担当：高須 宏明

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名【教材名】	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
1 学期	4 月	○世界はうつくしいと ○握手 ○漢字に親しもう1	●表現方法、リズムなどに気を付けながら音読し、自分にとっての「うつくしいもの」について考える。作者の考えを読み取る。 ●会話やエピソードに着目して登場人物の心情や人物像を捉える。 ●熟語や音訓について復習する。	知・技 (1) イ 思考・読む (1) ア イ	知識・技能 主体的に取り組む態度	○印象に残る表現を抜き出し、その効果や工夫について考えている。 ○表現に即して人物像を読み取っている。	プリント 授業観察
	5 月	○学びて時にこれを習う～『論語』から ○情報整理のレッスン ○意見を聞き、適切さを判断する ○文法1	●孔子の見方、考え方を読み取り、自分に当てはめて考える。 ●「学ぶこと」の意味を考える。 ●編集された情報の信頼性を考える姿勢を養う。 ●単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解する。	知・技 (1) イ 思考・読む (1) エ	知識・技能 主体的に取り組む態度 書く	○漢文の読みの決まりを理解し、書き下し文にすることができる。 ○漢文特有の表現に慣れ、滑らかに音読することができる。 ○孔子の考え方に対する自分の考えをもてる。 ○情報の発信源、目的などの観点から情報の信頼性を確認することができる。 ○目的・相手・場面に応じて適切な文章を工夫している。 ○熟語の成り立ちや構成への理解を深めている。	プリント 授業観察 定期考査
	6 月	○説得力のある構成を考えよう ○作られた「物語」を超えて ○思考のレッスン ○論理の展開を意識して書こう ○漢字に親しもう2	●相手・場面・目的に合わせてふさわしいスピーチになるように、内容や順番、言葉遣いなどを考え、構成メモを作成する。 ●具体と抽象の関係の中にある論理の展開に注意しながら、筆者の主張を要約する。 ●ゴリラの事例を通して語られる人間の性質を捉える。 ●論理の展開に注意しながら、筆者の主張を要約する。 ●新出漢字への理解を深める。	知・技 (2) アエ 思考・読む (1) ア ウ 話す (1) アイ	知識・技能 読むこと 主体的に取り組む態度	○語句や論理の展開に即して自分なりに読み取ることができる。 ○自分の体験や知識、思いを材料にスピーチの話題を見つけ、構成を工夫してメモを作成することができる。 ○練習課題に積極的に取り組み、漢字の理解を深めている。 ○文法の知識を活かそうとしている。	プリント 授業観察 ワーク 定期考査
	7 月	○俳句の可能性 ○俳句を味わう ○言葉の釣り糸を垂らす ○和語・漢語・外来語	●句に詠まれてい句に景を想像しながらそれぞれの俳句を理解する。 ●身の回りの風景や好きな季節などをテーマに俳句を作る。 ●日常生活での言葉の使い方を考える。 ●和語・漢語・外来語などを使い分けることを通して、語感を磨く。	知・技 (1) イウ 思考・書く (1) イ ウ 読む (1) ウ (2) イウ	知識・技能 読むこと 主体的に取り組む態度	○俳句の約束事を理解し、句に込められた作者の思いや情景を読み味わいを深めている。 ○表現を工夫して自分の思いや感動を俳句に表現している。 ○日常の言語生活を振り返り、世代ごとの言葉の違いなど見つけようとしている。 ○進んで、和語・漢語・外来語を理解し、今までの学習を生かして、相手や場面に応じて適切に使い分けようとしている。	プリント 授業観察 ワーク

令和8年度 年間指導計画・評価計画 【3年 国語科】担当：高須 宏明

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名（教材名）	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
2 学期	9 月	○故郷 ○論理の展開を整える ○慣用句・ことわざ・故事成語	●場面や登場人物の設定に着目して読み取り、人物の心情や関係の変化を時代背景と合わせて捉える。 ●目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて、文章全体を整える。 ●様々な表現に対する理解を深める。	知・技（1）イ 思考・読む（1）アイ 聞く（1）エ	知識・技能 主体的に取り組む態度 書く	○場面や人物の心情を表す表現に着目し、審理を読み取っている。 ○関係の変化を示す表現を読み取っている。 ○情報と情報との関係についての知識を生かして、書き改めようとしている。 ○語彙を豊かにし、知識の幅を広げようとしている。	プリント 授業観察
	1 0 月	○聞き上手になろう ○挨拶 ○複数の意見を読んで、考えよう—正解が一つに決まらない課題と向き合う ○考えを効果的に伝えよう	●話の展開を予測しながら聞き、聞き取った内容や表現の仕方を評価する。 ●語句や表現に込められた意味を読み取る。 ●要旨を捉え、筆者の主張や意見を根拠を考えて読み取る。 ●文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考える。 ●論理の展開を考えて文章を書く。	知・技（1）イ 思考・読む（1）エ 書く（1）アイ 話す（2）イ	知識・技能 主体的に取り組む態度 書く・話す	○話の展開を予測しながら積極的に聞き、今までの学習を生かして対談しようとしている。 ○比喻や象徴的な表現に注目し、筆者の思いを読み取っている。 ○二つの文章を比較して共通点や相違点を考え、それを基に考えを伝えあうことができる。 ○判断や根拠を明らかにして説得力のある構成で批評を書いている。	プリント 授業観察 定期考査
	1 1 月	○漢字に親しもう3 ○文法への扉2 ○初恋 ○和歌の世界～古今和歌集 ○君待つと～万葉・古今・新古今 ○夏草～「奥の細道」から	●新出漢字を確認する。 ●「ない」の文法上の違いを理解する。 ●七五調の文語定型詩の音読のリズムに慣れる ●歴史的仮名遣いに注意し、音読を通して古文の響きを味わう。 ●三大歌集の歌を比較し、時代による違いや表現を味わう。 ●江戸期の漢文調を交えた古文のリズムを味わう。 ●芭蕉の物の見方、感じ方を読み取る。	知・技（3）ア 思考・読む（1）ウ	知識・技能 読むこと 主体的に取り組む態度	○古人の心情や情景を「読み取り、時代による表現の違いについて理解を深めている。 ○和歌に詠まれた内容について、自分の感じ方を示している。 ○日本の伝統的な知識を背景とした芭蕉の考え方を理解している。 ○冒頭の文章を音読、暗唱できる。、	プリント 授業観察 ワーク 定期考査
	1 2 月	○古典目一句・名言集 ○それでも、言葉を ○話し合いを効果的に進めよう ○合意形成に向けて話し合おう ○漢字に親しもう4	●資料集等を参照しながら自分の気に入った名句・名言を選んでいく。 ●文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつ。 ●進行のしかたを工夫したり互いの発言を生かしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり、深めたりする。 ●ここまでに学習した漢字の復習を行う。	知・技（1）イウ 思考・書く（1）ウ オ（2）ア 読む（1）ウ（2） イウ	知識・技能 読む・書く 主体的に取り組む態度	○古典の良さを味わい、楽しもうとしている。 ○筆者の主張を捉え、現代社会や生き方に対する自分の意見をもっている。 ○合意形成に向けて納得できる結論を出すために、提案の意義や実現性を検討したり、互いの発言を生かして話し合うことができる。 ○ここまでに学習した漢字の理解を確認し、練習問題等を行い、確実にしていくことができる。	プリント 授業観察 ワーク

令和8年度 年間指導計画・評価計画 【3年 国語科】担当：高須 宏明

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名（教材名）	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
3 学期	1 月	○温かいスープ ○アラスカとの出会い ○律儀な桜 ○わたしを束ねないで	●筆者の考える国際性とは何かを理解して、自分の考えをまとめる。 ●随筆を読み、理解したことや考えたことについて討論したり文章にまとめたりする。 ●詩に込められた作者の思いを読み取り、自分の意見を持つ。	知・技（1）エ 思考・読む（1）エ	知識・技能 主体的に取り組む態度 読む	○人と人との関係を通して国際性とh何かを読み取り、それについて自分の考えを伝える文章を書くことができる。 ○人間、自然などについて進んで自分の意見を持ち、今までの学習や経験を生かして文章にまとめようとしている。 ○効果的な語句の使い方や表現の工夫に着目して詩を味わっている。	プリント 授業観察
	2 月	○3年間の歩みを振り返ろう ○漢字に親しもう	●これまでの学校生活の経験や学習の内容を振り返り、冊子にまとめる。 ●まとめる観点を決め、内容を取捨選択する。 ●適切なコメントや編集後記を書いて仕上げる。	知・技（1）イ 思考・読む（1）エ 書く（1）アイ	知識・技能 主体的に取り組む態度 書く	○三年間の学校生活の出来事や国語の学習から材料を集め、伝える目的を考えて攻勢を工夫している。	プリント 授業観察 作品集
	3 月	○学習をふりかえろう	●「1992年の秋空」「アイヌ民族：歴史と現在」を読んで、自分の学習課題を設定する。意見交流を通して自分の考えをまとめる。文章またはスピーチを行う。	知・技（2）アエ 思考・読む・書く （1）アウ 話す（1）ア	知識・技能 読むこと 主体的に取り組む態度	○三年間で学習したことを活かし、自分で問題意識をもって文章を読んでいる。 ○学んだこと、読み取ったこと、考えたことを自分の今後につなげていこうとしている。	プリント 授業観察 定期考査 スピーチ・文集

令和8年度 年間指導計画・評価計画

【3年 社会科 歴史・公民】担当：崎 涼太

評価の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名【教材名】	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	評価の観点	評価規準	評価方法
1 学期	4 月	歴史 第5章 開国と近代日本の歩み 第4節 日清・日露戦争と近代産業	日清・日露戦争を通じて日本の国際的地位が向上し、産業革命や学問・文化の発展によって近代化が形成されたことを理解させる。	近代の日本と世界-カ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に取り組む 態度	○当時の日本や世界の動きに関心をもち、日本の国際的地位が高まっていった過程について理解している。 ○戦争の結果、日本の国際的地位が向上したことや三国干渉によってロシアとの対立が深まったことを理解している。	定期考査 ノート 授業プリント
	5 月	第6章 二つの世界大戦と日本 1節 第一次世界大戦とその後の世界 2節 世界恐慌と日本の中国侵略	第一次世界大戦の背景とその影響、民族運動の高まりと国際協調の動き、日本の国民の政治的自覚の高まりを理解させる。	近代の日本と世界-カ 現代の日本と世界-ア	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に取り組む 態度	○第一次世界大戦の様子と戦後世界の変化について、資料から有用な情報を選択し、活用できている。	定期考査 ノート 授業プリント
	6 月	3節 第二次世界大戦と日本 第7章 現代の日本と世界 第1節 戦後の日本と世界	第二次世界大戦の原因や概要について理解させ、ヨーロッパとアジアの動きを比較しながら日本の動向を考えさせる。	現代の日本と世界-ア・イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に取り組む 態度	○第二次世界大戦の終結までの日本の政治・外交の動き、中国などのアジア諸国との関係、欧米諸国の動き、戦時下の国民の生活などについて調べ、自分の考えを表現し発表している。 ○終戦から現代に至るまでの問題や、日本や世界の抱える将来の課題を理解している。	定期考査 ノート 授業プリント
	7 月	第2節 冷戦下の世界と日本の経済成長	第二次世界大戦後の、日本の民主化と再建、国際社会への復帰について、世界の動きと関連させながら理解させる。	現代の日本と世界-ア・イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に取り組む 態度	○冷戦、日本の民主化の過程、国際社会への復帰など、現代の歴史的事象に対する関心を高め、意欲的に追求して現代の特色を捉えようとしている。	定期考査 ノート 授業プリント

令和8年度 年間指導計画・評価計画 【3年 社会科 歴史・公民】担当：崎 涼太

評価の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名（教材名）	単元のねらい	学習指導要領の指導項目	評価の観点	評価規準	評価方法
2 学期	9 月	公民 公民 第1章 現代社会と私たちの生活 第2章 個人の尊重と日本国憲法 第1節 人権と日本国憲法 第2節 人権と共生社会 第3節 これからの人権保障	日本国憲法に定められている基本的人権の種類やその内容について、具体的な事例を通して理解させる。 インターネットと人権との関係や人権保障の国際的な広がりなどについて、統計資料や新聞記事などを適切に選択させ、現状と課題を読み取らせるとともに、その解決策について多面的・多角的に考えさせる。	私たちと政治 -ア	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に取り組む 態度	○日本国憲法の基本原理に関わる諸課題について、そのあらましや解決への方向性を、日本国憲法の規定を基に多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ○日本国憲法に定められた基本的人権について、具体的な生活と関連づけて理解するとともに、自由・権利と責任・義務の関係を社会生活の基本として広い視野から正しく認識し、知識を理解している。	定期考査 ノート 授業プリント
	1 0 月	公民 第3章 現代の民主政治と社会 1節 現代の民主政治 2節 国の政治の仕組み 3節 地方自治と私たち	政党の役割や選挙制度、世論などの政治参加の方法について多面的・多角的に考察させ、望ましい政治参加の在り方について自分の考えを表現させる。また、国会・内閣・裁判所の地位や役割、相互関係のあらましを理解させる。 地方自治が直接請求という直接民主制の方法を導入している理由について、国と地方公共団体の比較を通して多面的・多角的に考察させるとともに、主権者としての政治参加の在り方について考えさせる。	私たちと政治 -イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に取り組む 態度	○選挙をはじめとする国民の政治参加が民主政治を支えていることに気づき、望ましい政治参加の在り方について、資料の読み取りや話し合いなどを通して多面的・多角的に考察し、自分の考えを分かりやすく表現している。 ○住民自治や地方分権の考え方について、既習事項を踏まえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	定期考査 ノート 授業プリント
	1 1 月	公民 第4章 私たちの暮らしと経済 1節 消費生活と経済 2節 生産と労働 3節 価格の働きと金融	身近な消費生活を中心に経済活動の意義を理解させるとともに、社会における企業の役割と責任について考えさせる。その際、社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について、勤労の権利と義務、労働組合の意義及び労働基準法の問題と関連付けて考えさせる。 身近な消費生活を中心に経済活動の意義を理解させるとともに、価格の働きに着目させて市場経済の基本的な考え方について理解させる。また、現代の金融などの仕組みや働きを理解させる。	私たちと経済 -ア・イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に取り組む 態度	○身近な事例を基に、消費や企業の生産活動、労働、生産と金融の仕組みや働きについて理解するとともに、市場経済の基本的な考え方を身につけ、その考え方を活用して経済的事象を捉えている。○身近な事例を基に、消費や企業の生産活動、労働、生産と金融の仕組みや働きについて理解するとともに、市場経済の基本的な考え方を身につけ、その考え方を活用して経済的事象を捉えている。	定期考査 ノート 授業プリント
	1 2 月	第4章 私たちの暮らしと経済 4節 政府の役割と国民福祉 5節 これからの経済と社会	国民の生活と福祉の向上を図るために、社会資本の整備、公害の防止など環境の保全、社会保障の充実、消費者の保護など、市場の働きにゆだねることが難しい諸問題に関して、国や地方公共団体が果たしている役割について考えさせる。また、財源の確保と配分という観点から財政の役割について考えさせる。その際、租税の意義と役割について考えさせるとともに国民の納税の義務について理解させる。	私たちと経済 -イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に取り組む 態度	○国民の生活と福祉の向上を図るために、国や地方公共団体が果たしている経済的な役割について、財源の確保と配分や、対立と合意、効率と公正などの観点から、判断している。 ○公債残高の増加や少子高齢化社会における社会保障のあり方など、財政上の課題のありましについて理解している。	定期考査 ノート 授業プリント

令和8年度 年間指導計画・評価計画 【3年 社会科 歴史・公民】担当：崎 涼太

評価の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名（教材名）	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	評価の観点	評価規準	評価方法
3 学 期	1 月	公民 第5章 地球社会と私たち 1節 国際社会の仕組み	世界平和の実現と人類の福祉の増大のためには、国際協調の観点から、国家間の相互の主権の尊重と協力、各国民の相互理解と協力及び国際連合をはじめとする国際機構などの役割が大切であることを認識させ、国際社会における我が国の役割について考えさせる。	私たちと国際社会の諸課題-ア	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に取り組む 態度	○国際社会の抱える諸課題に対する関心を高め、課題を意欲的に追求し、より良い地球社会を築くための解決策について考え続けようとする態度が見られる。 ○世界平和の実現と人類の福祉の増大の観点から、国家相互の主権の尊重、各国民の相互理解と協力の重要性について理解している。	定期考査 ノート 授業プリント
	2 月	公民 第5章 地球社会と私たち 2節 さまざまな国際問題	地球環境、資源・エネルギー、貧困などの課題の解決のために経済的、技術的な協力などが大切であることを理解させる。	私たちと国際社会の諸課題-ア	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に取り組む 態度	○国際社会の現状や諸課題に関するさまざまな資料から学習に役立つ情報を適切に選択し、的確に読み取り図表などにまとめたりしている。	定期考査 ノート 授業プリント
	3 月	公民 第5章 地球社会と私たち 3節 これからの地球社会と日本	持続可能な社会を形成するという観点から、私たちがよりよい社会を築いていくために解決すべき課題を探究させ、自分の考えをまとめさせる。	私たちと国際社会の諸課題-ア	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に取り組む 態度	○国際社会の諸課題やその解決への取り組みについて考察し、課程や結果を適切に表現したり、発表をとおして考えを深めたりしている。	定期考査 ノート 授業プリント

令和8年度 年間指導計画・評価計画 【3年 数学科】 担当：田村 健

評価の観点：◇知識・技能 ☆思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名【教材名】	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
1 学期	4 月	1章 式の展開と因数分解 1節 式の展開と因数分解 ①式の乗法・除法 ②乗法の公式 ③因数分解 2節 式の計算の利用	①単項式と多項式の乗法及び多項式を単項式でわる除法の計算をすることができる。 ②簡単な1次式の乗法の計算及び公式を用いる簡単な式の展開や因数分解をすることができる。 ③既習の計算の方法と関連付けて、式の展開や因数分解をする方法を考察し表現することができる。 ④文字を用いた式で数量及び数量の関係を捉え説明することができる。	A数と式(2) ア(ア) ア(イ) イ(ア) イ(イ)	◇知識・技能 ☆思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度	◇単項式と多項式の乗法及び多項式を単項式で割る除法の計算をすることができる。 ◇簡単な1次式の乗法の計算及び次の公式を用いる簡単な式の展開や因数分解をすることができる。 ☆既に学習した計算の方法と関連付けて、式の展開や因数分解する方法を考察し表現することができる。 ☆文字を用いた式を活用して数量及び数量の関係を捉え説明することができる。 ○式の展開や因数分解をすることの必要性や意味を考えようとしている。 ○学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ○問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	授業観察 プリント課題 問題集課題 確認テスト 観点別単元テスト 定期考査 自己評価シート 振り返りシート
	5 月	2章 平方根 1節 平方根 ①平方根 ②平方根の値 ③有理数と無理数 ④真の値と近似値 2節 根号をふくむ式の計算 3節 平方根の利用	①数の平方根の必要性和意味を理解することができる。 ②数の平方根を含む簡単な式の計算をすることができる。 ③具体的な場面で数の平方根を用いて表したり処理したりすることができる。 ④既習の計算の方法と関連付けて、数の平方根を含む式の計算の方法を考察し表現することができる。 ⑤数の平方根を具体的な場面で活用することができる。	A数と式(1) ア(ア) ア(イ) ア(ウ) イ(ア) イ(イ)	◇知識・技能 ☆思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度	◇平方根の必要性和意味を理解している。 ◇有理数、無理数の意味を理解している。 ◇平方根をふくむ簡単な式の計算をすることができる。 ◇具体的な場面で平方根を用いて表したり処理したりすることができる。 ☆既習の文字式の計算などと関連付けて、平方根をふくむ式の計算の方法を考察し表現することができる。 ☆平方根を具体的な場面で活用することができる。 ○平方根の必要性や意味を考えようとしている。 ○学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ○問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	
	6 月	3章 2次方程式 1節 2次方程式 ①2次方程式とその解き方 ②2次方程式の解の公式 ③2次方程式と因数分解 2節 2次方程式の利用	①2次方程式の必要性和意味及びその解の意味を理解することができる。 ②因数分解したり平方の形に変形したりして2次方程式を解くことができる。 ③解の公式を理解し、それを用いて2次方程式を解くことができる。 ④因数分解や平方根の考えを基にして、2次方程式を解く方法を考察し表現すること。 ⑤2次方程式を具体的な場面で活用することができる。	A数と式(3) ア(ア) ア(イ) ア(ウ) イ(ア) イ(イ)	◇知識・技能 ☆思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度	◇2次方程式の必要性和意味及びその解の意味を理解している。 ◇平方の形に変形し2次方程式を解くことができる。 ◇解の公式の意味を理解し、それを用いて2次方程式を解くことができる。 ◇因数分解を利用して2次方程式を解くことができる。 ◇事象の中の数量やその関係に着目し、2次方程式をつくることができる。 ☆平方根や因数分解の考えをもとにして、2次方程式を解く方法を考察し表現することができる。 ☆具体的な問題の解決に2次方程式を活用し、解が適切であるかどうかを判断することができる。 ○2次方程式の必要性和意味を考えようとしている。 ○学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ○問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	
	7 月						

令和8年度 年間指導計画・評価計画 【3年 数学科】 担当：田村 健

評価の観点：◇知識・技能 ☆思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名【教材名】	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
2 学期	9 月	4章 関数 $y=ax^2$ 1節 関数 $y=ax^2$ とグラフ ①関数 $y=ax^2$ ②関数 $y=ax^2$ とグラフ 2節 関数 $y=ax^2$ の値の変化 ①関数 $y=ax^2$ の値の増減と変域 ②関数 $y=ax^2$ の値の変化の割合 3節 いろいろな事象と関数の利用 ①関数 $y=ax^2$ の利用 ②いろいろな関数の利用	①事象の中には関数 $y=ax^2$ として捉えられるものがあることを理解することができる。 ②関数 $y=ax^2$ について、表、式、グラフを相互に関連付けて理解することができる。 ③関数 $y=ax^2$ を用いて具体的な事象を捉え説明することができる。 ④いろいろな事象の中に、関数関係があることを理解することができる。	C関数 (1) ア(ア) ア(イ) ア(ウ) イ(ア) イ(イ)	◇知識・技能 ☆思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度	◇関数 $y=ax^2$ について理解している。 ◇関数 $y=ax^2$ と捉えられる事象を知っている。 ◇関数 $y=ax^2$ を表、式、グラフを用いて表現したり、処理したりすることができる。 ◇事象の中に、関数関係があることを理解している。 ☆関数 $y=ax^2$ と捉えられる2つの数量について、変化や対応の特徴を見だし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現することができる。 ☆関数 $y=ax^2$ を用いて具体的な事象を捉え考察し表現することができる。 ○関数 $y=ax^2$ の必要性和意味を考えようとしている。 ○学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ○問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	授業観察 プリント課題 問題集課題 確認テスト 観点別単元テスト 定期考査 自己評価シート 振り返りシート
	10 月	5章 図形と相似 1節 図形と相似 ①相似な図形 ②三角形の相似条件 ③三角形の相似条件と証明 2節 平行線と線分の比 ①平行線と線分の比 ②中点連結定理 3節 相似な図形の計量 ①相似な図形の面積・体積 ②相似な図形の表面積・体積 4節 相似の利用	①平面図形の相似の意味及び三角形の相似条件を理解することができる。 ②三角形の相似条件などを基にして図形の基本的な性質を論理的に確かめることができる。 ③平行線と線分の比についての性質を見だし、それを確かめることができる。 ④基本的な立体の相似の意味と、相似な図形の相似比と面積比及び体積比の関係について理解することができる。 ⑤相似な図形の性質を具体的な場面で活用することができる。	B図形 (1) ア(ア) ア(イ) イ(ア) イ(イ) イ(ウ)	◇知識・技能 ☆思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度	◇相似の意味及び三角形の相似条件について理解している。 ◇相似な平面図形の相似比と面積比の関係について理解している。 ◇基本的な立体の相似の意味を理解し、相似な立体の相似比と表面積の比や体積比の関係について理解している。 ◇誤差、有効数字の意味を理解し、近似値を $a \times 10^n$ の形に表現することができる。 ☆三角形の相似条件などを基にして図形の基本的な性質を論理的に確かめることができる。 ☆平行線と線分の比についての性質を見だし、それらを確かめることができる。☆相似な図形の性質を具体的な場面で活用することができる。 ○図形の相似の意味や、相似な図形の相似比と面積比や体積比の関係を考えようとしている。 ○学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ○問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	
	11 月	6章 円の性質 1節 円周角と中心角 ①円周角と中心角 ②円周角の定理の逆 2節 円の性質の利用	①円周角と中心角の関係の意味を理解し、それが証明できることを知る。 ②円周角と中心角の関係を見いだすことができる。 ③円周角と中心角の関係を具体的な場面で活用することができる。	B図形 (2) ア(ア) イ(ア) イ(イ)	◇知識・技能 ☆思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度	◇円周角と中心角の関係の意味を理解し、それが証明できることを知っている。 ◇円周角の定理の逆が成り立つことを知っている。 ☆円周角と中心角の関係を見いだすことができる。 ☆円周角と中心角の関係を具体的な場面で活用することができる。 ○円周角と中心角の関係を見いだそうとしている。 ○学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ○問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	
	12 月	7章 三平方の定理 1節 直角三角形の3辺の関係 ①三平方の定理 2節 三平方の定理の利用 ①平面における線分の長さや面積 ②空間における線分の長さや体積	①三平方の定理の意味を理解し、それが証明できることを知る。 ②三平方の定理を見いだすことができる。 ③三平方の定理を具体的な場面で活用すること。	B図形 (3) ア(ア) イ(ア) イ(イ)	◇知識・技能 ☆思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度	◇三平方の定理の意味を理解し、それが証明できることを知っている。 ◇三平方の定理を利用して、直角三角形の辺の長さを求めることができる。 ◇三平方の定理の逆が成り立つことを知っている。 ☆三平方の定理を見いだすことができる。 ☆三平方の定理を具体的な場面で活用することができる。 ○三平方の定理を見いだそうとしている。 ○学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ○問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	

令和8年度 年間指導計画・評価計画 【3年 数学科】 担当：田村 健

評価の観点：◇知識・技能 ☆思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名【教材名】	単元のねらい	学習指導要領の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
3 学期	1 月	8章 標本調査とデータの活用 1節 標本調査 ①標本調査の方法 ②母集団と標本の関係 ③データを活用して問題を解決しよう	①標本調査の必要性和意味を理解することができる。 ②コンピュータなどの情報手段を用いるなどして無作為に標本を取り出し、整理することができる。 ③標本調査の方法や結果を批判的に考察し表現することができる。 ④簡単な場合について標本調査を行い、母集団の傾向を推定し判断することができる。	Dデータの活用 (1) ア(ア) ア(イ) イ(ア) イ(イ)	◇知識・技能 ☆思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度	◇標本調査の必要性和意味を理解している。 ◇コンピュータなどの情報手段を用いるなどして無作為に標本を取り出し、整理することができる。 ☆標本調査の方法や結果を批判的に考察し表現することができる。 ☆簡単な場合について標本調査を行い、母集団の傾向を推定し判断することができる。 ○標本調査の必要性和意味を考えようとしている。 ○学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ○問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	
	2 月	復習演習 総合演習 発展学習 A 数と式 B 図形 C 関数 D データの活用 数学的活動	①第3学年で学習した単元の内容についての理解の程度を問題演習の形式で確認し、学び直す。 ②第3学年で学習した単元の内容をもとにした総合的な問題を解決することで、思考力・判断力・表現力を養う。 ③第3学年で学習した単元の内容をもとにした発展的な問題に小集団で取り組み、協働して問題を解決することができる。 ④日常の事象や社会の事象を数理的に捉え、数学的に表現・処理し、解決の過程や結果を振り返って考察することができる。 ⑤数学の事象から見通しをもって問題を見だし解決したり、解決の家庭や結果を振り返って統合的・発展的に考察することができる。 ⑥数学的な表現を用いて論理的に説明し伝え合うことができる。	A(1) ア(ア)～(ウ) イ(ア)～(イ) A(2) ア(ア)～(イ) イ(ア)～(イ) B(1) ア(ア)～(イ) イ(ア)～(ウ) B(2) ア(ア) イ(ア)～(イ) B(3) ア(ア) イ(ア)～(イ) C(1) ア(ア)～(ウ) イ(ア)～(イ) D(1) ア(ア)～(イ) イ(ア)～(イ) 数学的活動 ア～ウ	◇知識・技能 ☆思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度	◇数の平方根、多項式と二次方程式、図形の相似、円周角と中心角の関係、三平方の定理、関数 $y=ax^2$ 、標本調査などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解している。 ◇事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることができる。 ☆数の範囲に着目し、数の性質や計算について考察したり、文字を用いて数量の関係や法則などを考察することができる。 ☆図形の構成要素の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現することができる。 ☆関数関係に着目し、その特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察することができる。 ☆標本と母集団の関係に着目し、母集団の傾向を推定し判断したり、調査の方法や結果を批判的に考察したりすることができる。 ☆数学の事象や日常的な事象から見通しをもって問題を見だし解決したり、解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察することができる。 ○数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしている。 ○問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしている。 ○多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとしている。	授業観察 自己評価シート プリント課題 問題集課題 単元確認テスト 学習調整テスト 定期考査 振り返りシート
	3 月						

令和8年度 年間指導計画・評価計画 【3年 理科】

担当：下出・村田

指導の観点：知識・技能

思考・判断・表現

主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名【教材名】	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	評価の観点	評価規準	評価方法
1 学期	4 月	単元3 運動とエネルギー 第1章 物体の運動	物体に力のはたらく運動および力のはたらかない運動についての観察、実験を通して、物体の運動には速さと向きがあること、力のはたらく運動では運動の向きや時間の経過によっても物体の速さが変わること、および、力のはたらかない運動では物体は等速直線運動することを見いだして理解する。	◆1分野(5)ア(イ)㉔ ①, イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	・運動には速さと向きがあることを理解している。 ・記録タイマーを用いて物体の速さを求められる。 ・物体の運動について問題を見だし、運動の関係を調べる実験を行っている。 ・ 台車の運動を記録タイマーを用いてグラフで表す。 ・黒点の観察記録から、太陽が球形で自転していることを考え、まとめ、表現している。 ・日周運動と自転、年周運動と公転について理解し、観察や実験の基本的な技能を身に付けている。	行動観察 実験プリント ワークシート ノート提出 小テスト 定期考査
		単元4 地球と宇宙 第1章 地球の動きと天体の動き	身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、日周運動と自転、年周運動と公転についての基本的な概念や原理・法則などを理解する。	◆2分野(6)ア(イ)㉔, イ ◆2分野(6)ア(ア)㉔, イ			
	5 月	単元3 運動とエネルギー 第1章 物体の運動 第2章 力のはたらき方	物体の運動と力のはたらき方が関係する状況の観察、実験を通して、力のつり合いと合成・分解や、物体にはたらく力と物体の運動の規則性や関係性、水中の物体にはたらく力を理解する。	◆1分野(5)ア(イ)㉔ ①, イ ◆1分野(5)ア(ア)㉔, イ ◆1分野(5)ア(ア)㉔, イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	・合力・分力の実験や作図をすることができる。 ・実験を見通しをもって行い、その結果を分析して合力の規則性を見いだして表現している。 ・物体に働く水圧・浮力について規則性やそれを調べる実験の技能を身に付けている。 ・水圧・浮力に関する事物に進んで関わり、科学的に探究しようとしている。	行動観察 実験プリント ワークシート ノート提出 小テスト 定期考査
		単元4 地球と宇宙 第1章 地球の動きと天体の動き	身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、日周運動と自転、年周運動と公転についての基本的な概念や原理・法則などを理解する。	◆2分野(6)ア(ア)㉔, イ		・日周運動と自転、年周運動と公転について理解し、観察や実験の基本的な技能を身に付けている。 ・四季の星座の変化に関心をもち、星座の変化や太陽の動きについて地球の動きと関連付けて科学的に探究しようとしている。	
	6 月	単元3 運動とエネルギー 第3章 エネルギーと仕事	仕事に関する観察、実験を通して、仕事と仕事率について、また、力学的エネルギーに関する観察、実験を行い、物体のもつ力学的エネルギーは物体がほかの物体になしうる仕事ではかれること、運動エネルギーと位置エネルギーは相互に移り変わることで、力学的エネルギーの総量は保存されることなどを見いだして理解する。	◆1分野(5)ア(イ)㉔, イ ◆1分野(5)ア(イ)㉔, イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	・仕事・仕事率について理解している。 ・力学的エネルギーについて実験の結果を分析し、規則性を見いだして表現している。 ・力学的エネルギーに関する事物に進んで関わり、科学的に探究しようとしている。	行動観察 実験プリント ワークシート ノート提出 小テスト 定期考査
		単元4 地球と宇宙 第2章 月と金星の見え方	身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、月や金星の運動と見え方についての基本的な概念や原理・法則などを理解する。	◆2分野(6)ア(ア)㉔, イ ◆2分野(6)ア(イ)㉔, イ		・月の満ち欠けについて太陽と月、地球の位置や月の公転などと関連付けて考え、表現している。 ・金星の満ち欠けについて太陽と金星、地球の位置や金星の公転などと関連付けて考え、表現している。	
7 月		単元1 化学変化とイオン 第1章 水溶液とイオン	水溶液に電圧をかけ電流を流す実験を通して、水溶液には電流が流れるものと流れないものがあることを見いだして理解する。また、電解質水溶液に電圧をかけ電流を流す実験を通して、電極に物質が生成することからイオンの存在を知るとともに、イオンの生成が原子のなり立ちに関係することを知る。	◆1分野(1)ア(ア)㉔, イ ◆1分野(6)ア(ア)㉔, イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	・原子の成り立ちとイオンについて基本的な概念や原理、法則などを理解している。 ・水溶液とイオンについて見通しをもって実験を行い、化学変化における規則性や関係性を見いだして表現している。	行動観察 実験プリント ワークシート ノート提出 小テスト 定期考査
		単元4 地球と宇宙 第3章 宇宙の広がり	身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、太陽系と恒星についての基本的な概念や原理・法則などを理解する。	◆2分野(6)ア(イ)㉔, イ ◆2分野(6)ア(イ)㉔, イ		・縮尺モデルなどを活用し、惑星の大きさやそれぞれの距離などを調べて理解し、知識を身に付けている。 ・太陽や銀河系などについて興味をもち、天体の種類や特徴などについて調べようとしている。	

令和8年度 年間指導計画・評価計画 【3年 理科】

担当：下出・村田

指導の観点：知識・技能

思考・判断・表現

主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名（教材名）	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	評価の観点	評価規準	評価方法
2 学 期	9 月	単元1 化学変化とイオン 第1章 水溶液とイオン 第2章 酸、アルカリとイオン	酸とアルカリの性質を調べる実験を通して、酸とアルカリのそれぞれの特性が水素イオンと水酸化物イオンによることを知る。また、中和の実験を通して、酸とアルカリを混ぜると水と塩が生成することを理解する。	◆1分野(6)ア(ア)イ ◆1分野(6)ア(ア) ⑦, イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	・酸とアルカリ、中和と塩について理解していると共に、科学的に探究するために必要な観察、実験の操作などの技能を身に付けている。 ・月の満ち欠けについて太陽と月、地球の位置や月の公転などと関連付けて考え、表現している。 ・金星の満ち欠けについて太陽と金星、地球の位置や金星の公転などと関連付けて考え、表現している。	行動観察 実験プリント ワークシート ノート提出 小テスト 定期考査
		単元4 地球と宇宙 第2章 月と金星の見え方	身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、月や金星の運動と見え方についての基本的な概念や原理・法則などを理解する。	◆2分野(6)ア(ア) ④, イ ◆2分野(6)ア(イ) ⑦, イ			
	1 0 月	単元1 化学変化とイオン 第3章 化学変化と電池	金属を電解質水溶液に入れる実験を通して、金属によってイオンへのなりやすさが異なることを見いだして理解する。また、電解質水溶液と2種類の金属などを用いた実験を通して、電池の基本的なしくみを理解するとともに、化学エネルギーが電気エネルギーに変換されていることを知る。	◆1分野(6)ア(イ) ⑦, イ ◆1分野(6)ア(イ) ④, イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	・金属イオン、化学変化と電池についての基本的な概念などを理解すると共に、実験などに関する操作や記録などの技能を身に付けている。 ・化学変化と電池に関する事物、事象に進んで関わり、科学的に探究しようとしている。 ・電子が電極における電子の授受によって外部に電流を取り出していることを見だし、イオンと関連付けて表現している。	行動観察 実験プリント ワークシート ノート提出 小テスト 定期考査
		単元4 地球と宇宙 第2章 月と金星の見え方	身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、月や金星の運動と見え方についての基本的な概念や原理・法則などを理解する。	◆2分野(6)ア(ア) ④, イ ◆2分野(6)ア(イ) ⑦, イ		・月の満ち欠けについて太陽と月、地球の位置や月の公転などと関連付けて考え、表現している。 ・金星の満ち欠けについて太陽と金星、地球の位置や金星の公転などと関連付けて考え、表現している。	
	1 1 月	単元2 生命の連続性 第1章 生物の成長と生殖	生物の成長とふえ方に関する事物・現象の特徴に着目しながら、生物の成長とふえ方について理解する。	◆2分野(5)ア(ア) ⑦, イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	・プレパラートを作成し、目的の細胞を観察・記録することができる。 ・生物の成長は体細胞分裂が関係することを見だし、表現できる。	行動観察 実験プリント ワークシート ノート提出 小テスト 定期考査
		単元4 地球と宇宙 第3章 宇宙の広がり	身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、太陽系と恒星についての基本的な概念や原理・法則などを理解する。	◆2分野(6)ア(イ) ⑦, イ ◆2分野(6)ア(イ) ④, イ		・縮尺モデルなどを活用し、惑星の大きさやそれぞれの距離などを調べて理解し、知識を身に付けている。 ・太陽や銀河系などについて興味をもち、天体の種類や特徴などについて調べようとしている。	
	1 2 月	単元2 生命の連続性 第2章 遺伝の規則性と遺伝子	生物の成長とふえ方に関する事物・現象の特徴に着目しながら、生物の成長とふえ方について理解する。 遺伝の規則性と遺伝子に関する事物・現象の特徴に着目しながら、遺伝の規則性と遺伝子について理解する。	◆2分野(5)ア(ア) ⑦, イ ◆2分野(5)ア(イ) ⑦, イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	・それぞれの細胞分裂について理解している。 ・生物の殖え方に関心をもち、意欲的に探究しようとしている。 ・遺伝の仕組み、規則性を理解し、遺伝子の組み合わせや比を表現できる。	行動観察 実験プリント ワークシート ノート提出 小テスト 定期考査
		単元4 地球と宇宙 第3章 宇宙の広がり	身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、太陽系と恒星についての基本的な概念や原理・法則などを理解する。	◆2分野(6)ア(イ) ⑦, イ ◆2分野(6)ア(イ) ④, イ		・縮尺モデルなどを活用し、惑星の大きさやそれぞれの距離などを調べて理解し、知識を身に付けている。 ・太陽や銀河系などについて興味をもち、天体の種類や特徴などについて調べようとしている。	

令和8年度 年間指導計画・評価計画 【3年 理科】

担当：下出・村田

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名（教材名）	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	評価の観点	評価規準	評価方法
3 学 期	1 月	単元2 生命の連続性 第3章 生物の多様性と進化	生物の種類の多様性と進化に関する事物・現象の特徴に着目しながら、生物の種類の多様性と進化について理解する。	◆1分野(5)ア(ア) ⑦, イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	・生物の進化の概念を理解している。 ・これまでに学習したことを整理し、進化の方向性について考えをまとめ、表現している。 ・食物連鎖と個体数など関係をまとめ、表現している。 ・微生物の働きを知り、物質の循環について理解し、知識を身に付けている。	行動観察 実験プリント ワークシート ノート提出 小テスト 定期考査
		単元5 地球と私たちの未来のために 第1章 自然のなかの生物	日常生活や社会と関連づけながら、自然界のつり合いについて理解する。				
		単元5 地球と私たちの未来のために 第3章 科学技術と人間	人間は水力、火力、原子力、太陽光などからエネルギーを得ていることを知り、エネルギー資源の有効な利用が大切であることを認識する。また、日常生活では、様々な物質が幅広く利用されていることを理解する。	◆1分野(7)ア(イ) ⑦, イ		・日常生活や社会と関連付けながら、エネルギーとその資源や利用などについて理解している。	
	2 月	単元5 地球と私たちの未来のために 第2章 自然環境の調査と保全	日常生活や社会と関連づけながら、自然環境の調査と環境保全について理解する。	◆2分野(7)ア(ア) ⑦, イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	・自然環境の調査を行い、異なる場所における自然環境の特徴を調べ、結果を科学的に分析して表現している。 ・自然環境の保全のために、自然を保護したり、共生したりする仕組みについて理解している。	行動観察 実験プリント ワークシート ノート提出 小テスト 定期考査
		単元5 地球と私たちの未来のために 第3章 科学技術と人間	人間は水力、火力、原子力、太陽光などからエネルギーを得ていることを知り、エネルギー資源の有効な利用が大切であることを認識する。また、日常生活では、様々な物質が幅広く利用されていることを理解する。	◆1分野(7)ア(イ) ⑦, イ		・科学技術の発展に関する事例などについて調べ、科学技術が人間の生活を豊かにしてきたことについて自分の考えをまとめて表現している。	
	3 月	単元5 地球と私たちの未来のために 第2章 自然環境の調査と保全	日常生活や社会と関連づけながら、自然環境の調査と環境保全について理解する。	◆2分野(7)ア(イ) ⑦, イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	・自然環境の保全と科学技術の利用に関する事象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	行動観察 実験プリント ワークシート ノート提出 小テスト 定期考査
		単元5 地球と私たちの未来のために 終章 持続可能な社会をつくるために	日常生活と社会とを関連づけながら、科学技術が人々の生活を豊かにし、人間の経済活動が環境に変化をあたえていることを理解するとともに、持続可能な社会をつくることが重要であることを認識する。	◆1分野(7)ア(イ) ⑦, イ		・科学技術の利用に関する事象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	

令和8年度 年間指導計画・評価計画 【3年 音楽科】 担当：樋口紘子

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名【教材名】	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
1 学期	4 月	心の歌 【花】	歌詞の内容や曲想から日本の歌のもつ情緒を味わい、情景を思い浮かべながら、曲にふさわしい表現を工夫して歌う。	歌唱-ア・イ・ウ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解している。 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けている。 音色、リズム、旋律、強弱を知覚し、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫している。 曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみ主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 実技テスト 定期テスト 観察
	5 月	オペラのに親しみ、その魅力を味わおう【アイーダ】	音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術とのかかわりについて理解するとともに、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。	鑑賞-ア・イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他芸術との関わりについて理解している。 音色、旋律、テクスチュアを知覚し、それらの生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考える。 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりを持ち、主体的協働的に鑑賞活動に取り組もうとしている。	定期考査 ワークシート 観察
	6 月 7 月	合唱コンクール課題曲・自由曲【曲目未定】	音楽の特徴や音楽を形づくっている要素や、構造と曲想とのかかわり、背景などから理解して、そのよさや美しさを味わいながら聴き、根拠をもって批評するなどする。 パートの役割と全体の響きとのかかわりを理解し、曲にふさわしい表現を仲間と一緒に工夫して表情豊かに合唱する。	鑑賞-ア・イ・ウ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解している。 音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、曲や演奏の評価と根拠を考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解している。 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けている。 音色、リズム、旋律、強弱を知覚し、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫している。 曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 定期考査 観察

令和8年度 年間指導計画・評価計画 【3年 音楽科】 担当：樋口紘子

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名（教材名）	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
2 学期	9 月	合唱コンクール課題曲・自由曲 【曲目未定】	パートの役割と全体の響きとのかかわりを 理解し、曲にふさわしい表現を仲間と一緒 に工夫して表情豊かに合唱する。	歌唱-ア・イ・ウ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取 り組む態度	曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関 わりについて理解している。 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、 言葉の発音、身体使い方などの技能を身に付けて いる。 音色、リズム、旋律、強弱を知覚し、曲にふさわし い歌唱表現を創意工夫している。 曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関 わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体 的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	観察 ワークシート 定期テスト 実技試験
	1 0 月	楽器の音色に親しみながらオー ケストラの響きを味わおう 『ボレロ』	音楽の特徴や音楽を形づくっている要素 や、構造と曲想とのかかわり、背景などか ら理解して、そのよさや美しさを味わいな がら聴き、根拠をもって批評するなどす る。	鑑賞-ア・イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取 り組む態度	曲想と音楽の構造との関わりについて理解してい る。 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術 との関わりについて理解している。 音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、 形式、構成を知覚し、曲や演奏の評価と根拠を考 え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。曲 想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わ りについて理解している。	観察 ワークシート 定期テスト
	1 1 月	英語の語感と曲の雰囲気を生か して歌おう【Hey Jude】 ポピュラー音楽	曲想を味わい、言葉の特性を理解して、曲 にふさわしい表現を工夫して歌う。 様々なポピュラー音楽の特徴や背景をとら えることで音楽の多様性を理解し、その良 さや美しさを味わいながら聴く。	歌唱-ア・イ 鑑賞-ア・イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取 り組む態度	曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関 わりについて理解している。 日本歌曲との発声・発音の違いを理解し、創意工夫 を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発 音、身体使い方などの技能を身に付けている。 音色、リズム、速度、旋律、強弱を知覚し、曲にふ さわしい歌唱表現を創意工夫している。 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術 との関わりについて理解している。 音色、リズム、旋律、テクスチャを知覚し、曲や 演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽の よさや美しさを味わって聴いている。 音楽の特徴と背景となる文化や歴史、他の芸術との 関わりに関心を持ち、楽しみながら主体的・協働的 に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	観察 ワークシート 観察 ワークシート 定期考査
	1 2 月	世界の諸民族の音楽	世界の諸民族の音楽の特徴や背景をとらえ ることで音楽の多様性を理解し、そのよさ や美しさを味わいながら聴く。	鑑賞-ア・イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取 り組む態度	音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術 との関わりについて理解している。 我が国や郷土の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽の 特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性につい て理解している。 音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよ さや美しさを味わって聴いている。	観察 ワークシート

令和8年度 年間指導計画・評価計画 【3年 音楽科】 担当：樋口紘子

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名（教材名）	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
3 学 期	1 月	ギターを弾こう 【LESSON 3】	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした器楽表現を創意工夫して演奏する。	器楽-ア・イ・ウ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	楽器の音色や響きの関わりについて理解している。 創意工夫を生かして演奏するために必要な奏法、身体 の使い方などの技能、創意工夫を生かし、全体の 響きや各声部の音などを聴きながら演奏している。 音色、旋律、テクスチャを知覚し、どのように演 奏するかについて思いや意図をもっている。 楽器の構造や奏法、音色や響き、よさに関心をもち 楽しみながら主体的・協働的に取り組んでいる。	観察 ワークシート 実技試験
	2 ・ 3 月	国歌【君が代】 卒業式式歌【曲目未定】	歌詞の内容や曲想を味わい、言葉と旋律とのかかわりやパートの役割と全体の響きとのかかわりを理解し、曲にふさわしい表現を仲間と一緒に工夫して表情豊かに合唱する。	歌唱-ア・イ・ウ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、 言葉の発音、身体使い方などの技能を身に付けて いる。 音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、 形式、構成を知覚し、曲にふさわしい歌唱表現を創 意工夫している。 曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関 わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体 的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしてい る。	観察 ワークシート

令和8年度 年間指導計画・評価計画

【3年 美術科】

担当：上村 千穂 桐山 侑紀

指導の観点：知識・技能

思考・判断・表現

主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名【教材名】	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
1 学期	4 月	オリエンテーション オノマトペを形にしよう モダンテクニック	○一年間の学習の流れを把握する。 ○オノマトペ（擬音語・擬声語）を文字のデザインや絵、抽象的な形や線で表現できるようにする。 ○モダンテクニックの技法を体験し、用具の使い方や色の組み合わせ方で様々な表現につなげることができるようにする。 ○モダンテクニックの技法が与えるイメージに気づき、使える場面を想定することができるようにする。	A表現(1)-ア-ア A表現(2)-ア-(ア) 共通事項(1)-ア	主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現 知識・技能	・オノマトペから意味やイメージに着目し、文字のデザインや絵、抽象的な形や線を使って工夫して表すことができる。 ・用具の使い方や色の組み合わせ方で技法の印象が変わることに着目し、試行錯誤して様々な表現に表すことができる。 ・表現からイメージをふくらませ、制作に使える場面を想定することができる。 ・モダンテクニックの技法体験を楽しみ、表現からイメージを膨らませるなど意欲的に取り組むことができる。	プリント評価 授業観察 作品評価
	5 月	モダンテクニック	○モダンテクニックの技法を体験し、用具の使い方や色の合わせ方で面白い表現につなげることができるようにする。 ○モダンテクニックの技法が与えるイメージに気づき、使える場面を想定することができるようにする。	A表現(1)-ア-(ア) 共通項目(1)-アイ A表現(2)-ア-(ア)(イ)	主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現 知識・技能	・用具の使い方や色の組み合わせ方で技法の印象が変わることに着目し、試行錯誤して様々な表現に表すことができる。 ・表現からイメージをふくらませ、制作に使える場面を想定して作品にまとめることができる。 ・モダンテクニックの技法体験を楽しみ、表現からイメージを膨らませるなど意欲的に取り組むことができる。	授業観察 プリント評価
	6 月	絵画 「空想の世界へようこそ」 導入鑑賞 《記憶の固執》《白紙委任状》 空想画制作 ・作品の構想 ・アイディアスケッチ ・相互作品鑑賞 ・作品制作	○シュールレアリスムの巨匠、サルバドール・ダリとマグリットの作品を鑑賞し、デペイズマンの効果を実感できるようにする。 ○自由連想法で発想し、自分の内側にある思いに気づき主題を生み出すことができる。 ○主題を表すために適切な技法や材料、用具を模索できるようにする。 ○友人とアイディアスケッチの交流活動を行い作品の意図や工夫に気づくことができ、自分の制作を見直すことができるようにする。 ○主体的に発想・構想を深め、見通しを持って制作することができるようにする。	B鑑賞(1)-ア-(ア) A表現(1)-ア-(ア) A表現(2)-ア-(ア)(イ) 共通項目(1)-ア、イ	主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現 知識・技能	・ダリとマグリットの作品を鑑賞し、登場するモチーフの関連性からありえない組み合わせ（デペイズマン）の面白さに気づく。 ・自由連想法で自分に関するキーワードを集めそこからデペイズマンを使って主題を生み出し、自分らしい表現の構想を練ることができる。 ・自分の見方や感じ方を深めながら空想の世界を表そうと主体的に取り組んでいる。 ・自他の作品を鑑賞し表現の意図や工夫、効果に気づくことができる。	授業評価 プリント評価 アイディアスケッチ評価 作品評価
	7 月	絵画 「空想の世界へようこそ」 空想画制作	○主題を表現するために効果的な表現を必要に応じて取捨・選択し、絵の具や用具の特性を生かし、より良く表現しようとするようにする。 ○主題を表現するために効果的な技法や配置を検討し、構想を練ることができるようにあずる。 ○空想の世界に関心を持ち、自分の思いを表現するための方法を意欲的に模索しようとするようにする。	A表現(1)-ア-(ア) A表現(2)-ア-(ア)(イ) 共通項目(1)-ア、イ	主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現 知識・技能	・モダンテクニックや水彩の技法、材料や用具の特性を生かし、意図に応じた表現ができる。 ・制作の順序を考え、見通しを持って取り組むことができる。 ・主題を表現するために効果的な表現になっているか見直すことができる。 ・空想や夢に関心を持って、自分の思いを意欲的に表すことができる。	授業観察 作品評価 プリント評価

令和8年度 年間指導計画・評価計画

【3年 美術科】

担当：上村 千穂 桐山 侑紀

指導の観点：知識・技能

思考・判断・表現

主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名（教材名）	単元のねらい	学習指導要領の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
2 学期	9 月	絵画 「空想の世界へようこそ」 ・作品制作 ・作品相互鑑賞 修学旅行に向けて 「仏像について知ろう」	○主題を再確認し、主題に沿った表現になっているか、そのための技法や材料が適切か、さらに工夫を重ねる必要性や方法を再度構想できるようにする。 ○自他の作品を鑑賞し、良さや意図を感じ、工夫を見つけることができるようにする。 ○修学旅行の前に日本の伝統的な作品鑑賞を通して作品の良さや見どころを理解できるようにする	A表現(1)-ア-(ア) 共通事項(1)-アイ B鑑賞(1)-ア-(ア) B鑑賞(1)-イ-(イ)	主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現 知識・技能	・主題を表現できているか見直し、さらに必要な工夫があれば取り組み完成度をあげることができる。 ・自他の作品を鑑賞し作品の良さや表現の意図、工夫や組み合わせの効果に気づくことができる。 ・伝統美術である仏像や建築、工芸品などを鑑賞し、良さや美しさを感じ、見方を深めることができる。 ・修学旅行の事前授業として意欲的に学び修学旅	授業観察 プリント評価 自己評価 作品評価
	1 0 月	塑像 「季節感のある暮らし」 季節感を取り入れた四季折々の表現の理解 素案・絵図の制作鑑賞 素案から試作づくり	○伝統的な和菓子のレプリカ作成を通して生活に息づく美術の働きに気づき、日本独自の美意識を感じることができるようにする。 ○日本の伝統色を知り、日本人が季節によって感じてきた色彩感覚を理解できるようにする。 ○実際の和菓子参考例から、季節感と形や色の工夫を理解できるようにする。 ○季節の和菓子絵図を表現することで季節感と食とのとらえ方、美意識を理解できるようにする。	B鑑賞(1)-イ-(イ) 共通項目(1)-ア、イ A表現(1)-イ-(ア) A表現(1)-イ-(ウ) B鑑賞(1)-ア-(イ)	主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現 知識・技能	・実際の和菓子の資料や参考作品から日本独自の美意識を理解できる。 ・日本人の季節の感覚が色や形に現れていることに気づき工夫をみつけることができる。 ・色鉛筆の濃淡や混色を試みながら、季節感あふれる独自の色を発見することができる。 ・季節感を正しく捉えた色彩を選び、形の抽象化、単純化を取り入れた表現ができる。 ・色彩の濃淡や色合いの違いによる季節の表現を見出せる。	授業観察 プリント評価 素案評価 自己評価 作品評価 定期考査
	1 1 月	塑像 「季節感のある暮らし」 本作品制作 作品相互鑑賞 定期考査	○季節感を取り入れた四季折々の表現に着目し、造形作品としての美しさを具体的に表せられるように材料や用具を工夫して表現することができるようにする。 ○季節感を表す表現に関心を持ち自身の見方を大切に意欲的に表現できるようにする。 ○友人の作品を鑑賞し、良さや美しさ、表現の工夫をや見つけることができるようにする。 ○定期考査によって美術の知識を定着させ今後の人生の中で美術とのつながりを持ち続けられるようにする。	A表現(1)-イ-(ア、ウ) 共通項目(1)-ア B鑑賞(1)-ア-(イ) B鑑賞(1)-イ-(ア、イ)	主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現 知識・技能	・季節感を表現した造形作品として表すために色や簡略化した形の工夫、用具を効果的に使うことができる。 ・季節を表す表現に関心を持ち、自分なりの見方が具体的に表現に結びつくように試行錯誤し意欲的に制作に取り組むことができる。 ・友人の作品から色や形、用具の使い方の工夫に着目し、制作の意図をつかむことができる。 ・定期考査に向けて美術の基礎知識を再確認し、美術の役割について考えることができる。	授業観察 作品評価 自己評価
	1 2 月	工芸 「心がほっとなごむもの」 ～銘々皿の制作～ アイディアスケッチ 作品相互鑑賞	○お菓子を乗せる銘々皿を鑑賞し、デザインの良さや美しさを感じ、生活に与える豊かさを感じることができるようにする。 ○地色の黒と上に載せる千代紙の色の組み合わせによって効果の違いに気づくことができるようにする。 ○表現したい季節感に合う色や形の組み合わせを考え、使用する人の気持ちを考えたデザインをアイディアスケッチにまとめることができるようにする。	A表現(1)-イ-(ア、ウ) 共通項目(1)-ア B鑑賞(1)-ア-(イ) B鑑賞(1)-イ-(ア、イ)	主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現 知識・技能	・生活で使われている銘々皿を鑑賞し、良さや美しさを感じ、素材や色、形の工夫点を見つけることができる。 ・主題を決定し、主題を表す色彩や形の表現を構想することができる。 ・形や色鉛筆の濃淡、重なりによって表情の違いを感じ主題を表現するための工夫を考え、表現できる。 ・制作に見通しを持って取り組み、アイディアスケッチを完成させることができる。	授業観察 プリント評価 アイディアスケッチ評価 自己評価

令和8年度 年間指導計画・評価計画

【3年 美術科】

担当：上村 千穂 桐山 侑紀

指導の観点：知識・技能

思考・判断・表現

主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名（教材名）	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
3 学期	1 月	工芸 「心がほっとなごむもの」 ～銘々皿の制作～ 本作品制作	○2学期に制作したアイディアスケッチをもとに主題をよりよく表現するための構想を練り、材料や形・色彩を選択できるようにする。 ○千代紙や金箔などの材料の特性を知り、的確に使えるようにする。 ○千代紙や金箔など材料の特性に合わせて制作の順番を考え、見通しを持って表現できるようにする。	A表現(1)-イ(ア、ウ) 共通項目(1)-ア	主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現 知識・技能	・主題を表現するためにアイディアスケッチで構想した方法が実際に使う千代紙や道具の特性に合っているか、吟味を繰り返しながら制作を進めることができる。 ・千代紙や金箔などの材料やハサミ、ニスなど道具の特性を理解し、的確な使用ができている。 ・千代紙や金箔など道具の特性に合わせて制作の順番を考え、見通しを持って表現できる。	授業観察 作品評価 自己評価
	2 月	工芸 「心がほっとなごむもの」 ～銘々皿の制作～ 本作品制作	○自分の制作を再確認し、主題をよりよく表現するための表現を追求できるようにする。 ○千代紙や金箔、ニスなどの材料の特性を知り、的確に使えるようにする。 ○千代紙や金箔など材料の特性に合わせて制作の順番を考え、見通しを持って表現できるようにする。	A表現(1)-イ(ア、ウ) 共通項目(1)-ア	主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現 知識・技能	・銘々皿の工芸品、日用品としての用途を理解しながら個性ある美的要素を効果的に取り組み作品として具現化できる。 ・学習した地色の黒との対比の効果や形、素材を生かした表現にすることができる。 ・ニスの特性を理解し、道具の正しい使い方をし丁寧な仕上げをすることができる。	授業観察 作品評価 自己評価
	3 月	工芸 「心がほっとなごむもの」 ～銘々皿の制作～ 作品相互鑑賞 三年間のまとめと振り返り	○友人の作品を鑑賞し、良さや美しさを感じ主題を表現するための工夫点に気づくことができるようにする。 ○三年間の学習を振り返り、社会における美術の役割に着目し、人生に渡って美術を愛好する心情を持てるようにする。	B鑑賞(1)-ア(イ) B鑑賞(1)-イ-(ア、イ)	主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現 知識・技能	・友人の作品から表現の意図を感じ、主題を表現するための工夫を見つけることができる。 ・使用するもの（銘々皿）として美術がどう関わり生活を豊かにしているか感じることができる。 ・三年間の学習を振り返り、美術と社会のかかわりに気づき生活を豊かにするものとしてとらえることができる。	授業観察 プリント評価 自己評価

令和8年度 年間指導計画・評価計画【3年 保健体育科】担当：村上 正樹

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名【教材名】	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
1 学期	4 月	A 体づくり運動 授業についてのオリエンテーショ ン (集団行動・方向転換・ラジオ体 操)	(1) 一定の集団がひとまとまりになり、行 動するときの基本動作のきまりや、方向転 換、集合・整とん、列の増減、行進などが できるようにする。 (2) きまりを理解し、能率よく行動できる ようにする。 (3) 体を動かす楽しさや心地よさを味わ い、体力を高め、目的に適した運動を身に つけ、組み合わせることができるようにする。 (4) 体づくり運動に積極的に取り組むと ともに、分担した役割を果たそうとすること などや、健康・安全に気を配ることができる ようにする。 (5) 体づくり運動の意義と行い方などを理 解し課題に応じた運動の取り組み方を工夫 できるようにする。	ア. 体ほぐし運動 イ. 体力を高める運動	主体的に学習に取 り組む態度 思考・判断・表現 知識・技能	・体を動かす楽しさや心地よさを味わおうとしてい る。 ・運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを 理解している。 ・体ほぐしの運動・・・心と体は互いに影響し変化する ことに気付き、体の状態に応じて体の調子を整え、仲 間と積極的に交流するための手軽な運動や律動的な運 動を行うことができる。 ・体力を高める運動・・・ねらいに応じて、健康の保持 増進や調和のとれた体力向上を図るための運動の計画 を立てて取り組むことができる。 ・体づくり運動の意義とその行い方を知っている。	・授業観察 ・発言内容 ・学習カード ・実技テスト ・振り返りカー ド ・期末考査
	4 ・ 5 月	C 陸上競技	(1) 陸上競技の運動について、記録の向上 や競争の楽しさや喜びを味わい、基本的な動 きや効率のよい動きを身につけることができ るようにする。 (2) 陸上競技に積極的に取り組むととも に、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろ うとすること、分担した役割を果たそうとす ることなどや、健康安全に気を配ることがで きるようにする。 (3) 陸上競技の特性や成り立ち、技術の名 称や行い方、関連して高まる体力などを理解 し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫で きるようにする。	ア. 短距離走 リレー ハードル走 イ. 走り幅跳び	主体的に学習に取 り組む態度 思考・判断・表現 知識・技能	・全力で競技したり、記録を向上させたりする陸上競 技の楽しさや喜びを味わおうとしている。 ・互いに協力し、励まし合いながら練習や競技を行お うとしている。 ・自分の能力に適した目標記録や課題に対し、練習を 創意・工夫・思考している。 ・技能を高めたり、記録を高めたりすることができ る。 ・特性や成り立ち、安全な学習の進め方を理解してい る。	・授業観察 ・発言内容 ・学習カード ・実技テスト ・振り返りカー ド ・期末考査
	6 ・ 7 月	D 水泳	(1) 水泳の運動について、記録の向上や競 争の楽しさや喜びを味わい、泳法を身につけ ることができるようにする。 (2) 水泳に積極的に取り組むとともに、勝 敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとす ること、分担した役割を果たそうとすること などや、水泳の事故防止に関する心得など健 康・安全に気を配ることができるようにす る。 (3) 水泳の特性や成り立ち、技術の名称や 行い方、関連して高まる体力などを理解し、 課題に応じた運動の取り組み方を工夫できる ようにする。	ア. クロール イ. 平泳ぎ ウ. 背泳ぎ エ. バタフライ	主体的に学習に取 り組む態度 思考・判断・表現 知識・技能	・続けて長く泳ぐ、速く泳いだり競争したりする水泳 の楽しさや喜びを味わおうとし、技能を高めることが できる。 ・水泳の特性に応じた技能を練習で身につけ、技術の 名称、運動のポイントなどを理解している。 ・目標を達成するための課題に対し、創意・工夫・思 考している。 ・水泳の事故防止の心得や安全な行動のしかたを理解 し、知識を持っている。また、それに準じた行動がで きる。	・授業観察 ・発言内容 ・学習カード ・実技テスト ・振り返りカー ド ・期末考査

令和8年度 年間指導計画・評価計画【3年 保健体育科】担当：村上 正樹

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名（教材名）	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価基準	評価方法
	9・10月	E 球技	（1）運動について、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームが展開できるようにする。 （2）運動に積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、作戦などについての話し合いに参加しようとするなどや健康・安全に気を配ることができるようにする。 （3）運動の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。	ア. ゴール型 「サッカー」 又は 「ハンドボール」	主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現 知識・技能	・作戦を立てたりルールを工夫したりして勝敗を競い合う球技の楽しさや喜びを味わおうとしている。 ・用具や練習場所の安全に留意し、種目の特性を知り、学習の進め方や知識を理解している。 ・ルールを守り、勝敗や結果を受け入れようとしている。 ・練習やゲームを通してチームや自分の課題を知り、互いに創意・工夫・思考し、技能を高めることができる。 ・ルールや審判のしかたを理解している。 ・作戦を立てたりルールを工夫したりして勝敗を競い合う球技の楽しさや喜びを味わおうとしている。 ・ルールを守り、勝敗や結果を受け入れようとしている。	・授業観察 ・発言内容 ・学習カード ・実技テスト ・振り返りカード ・期末考査
		F 武道	（1）柔道の運動について、技ができる楽しさや喜びを味わい、基本動作や基本となる受け身や技ができるようにする。 （2）柔道に積極的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすることなどや、禁じ技を用いないなど健康・安全に気を配ることができるようにする。 （3）柔道の特性や成り立ち、伝統的な考え方、技の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。	ア. 柔道	主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現 知識・技能	・礼儀作法を重んじて、相手を尊重し、自分を律する態度をとろうとしている。 ・用具や会場の安全を確かめたり、受け身の技能を高め、禁じ技を用いないなど、安全に留意している。 ・自分に対しての課題を創意・工夫・思考している。 ・各種の練習を通して、段階的、系統的に技能を身につけている。 ・柔道の特性や基本動作、対人的な技術構造、学習の進め方を理解している。 ・礼儀作法や競技のルール、知識を身につけている。	・授業観察 ・発言内容 ・学習カード ・実技テスト ・振り返りカード ・期末考査
	10・11月	E 球技	（1）勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームが展開できるようにする。 （2）積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、作戦などについての話し合いに参加しようとするなどや健康・安全に気を配ることができるようにする。 （3）特性や成り立ち、技術の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。	イ. ネット型 「バレーボール」	主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現 知識・技能	・作戦を立てたりルールを工夫したりして勝敗を競い合う球技の楽しさや喜びを味わおうとしている。 ・用具や練習場所の安全に留意し、種目の特性を知り、学習の進め方や知識を理解している。 ・ルールを守り、勝敗や結果を受け入れようとしている。 ・練習やゲームを通してチームや自分の課題を知り、互いに創意・工夫・思考し、技能を高めることができる。 ・ルールや審判のしかたを理解している。 ・作戦を立てたりルールを工夫したりして勝敗を競い合う球技の楽しさや喜びを味わおうとしている。 ・ルールを守り、勝敗や結果を受け入れようとしている。	・授業観察 ・発言内容 ・学習カード ・実技テスト ・振り返りカード ・期末考査
	12月	C 陸上競技	（1）陸上競技の運動について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、基本的な動きや効率のよい動きを身につけることができるようにする。 （2）陸上競技に積極的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすることなどや、健康安全に気を配ることができるようにする。 （3）陸上競技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。	ア. 長距離走	主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現 知識・技能	・全力で競技したり、記録を向上させたりする陸上競技の楽しさや喜びを味わおうとしている。 ・互いに協力し、励まし合いながら練習や競技を行おうとしている。 ・自分の能力に適した目標記録や課題に対し、練習を創意・工夫・思考している。 ・技能を高めたり、記録を高めたりすることができる。 ・特性や成り立ち、安全な学習の進め方を理解している。	・授業観察 ・発言内容 ・学習カード ・実技テスト ・振り返りカード ・期末考査

令和8年度 年間指導計画・評価計画【3年 保健体育科】担当：村上 正樹

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名（教材名）	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
3 学 期	1 月 ・ 2 月 ・ 3 月	E 球技	（1）運動について、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームが展開できるようにする。 （2）積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、作戦などについての話し合いに参加しようとするなどや健康・安全に気を配ることができるようにする。 （3）特性や成り立ち、技術の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。	ウ. ベースボール型 「ソフトボール」 イ. ネット型 「卓球」 「バドミントン」	主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現 知識・技能	・作戦を立てたりルールを工夫したりして勝敗を競い合う球技の楽しさや喜びを味わおうとしている。 ・用具や練習場所の安全に留意し、種目の特性を知り、学習の進め方や知識を理解している。 ・ルールを守り、勝敗や結果を受け入れようとしている。 ・練習やゲームを通してチームや自分の課題を知り、互いに創意・工夫・思考し、技能を高めることができる。 ・ルールや審判のしかたを理解している。 ・作戦を立てたりルールを工夫したりして勝敗を競い合う球技の楽しさや喜びを味わおうとしている。 ・ルールを守り、勝敗や結果を受け入れようとしている。	・授業観察 ・発言内容 ・学習カード ・実技テスト ・振り返りカード ・期末考査

令和8年度 年間指導計画・評価計画【3年 保健体育科】担当：村上 正樹

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名(教材名)	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
	1 学期	体育理論 ③文化としてのスポーツ	○文化としてのスポーツの意義について理解する ※スポーツは、文化的な生活を営みよりよく生きていくために重要であること ※オリンピックやパラリンピック及び国際的なスポーツ大会などは、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしていること ※スポーツは、民族や国、人種や性、障害の違いなどを超えて人々を結びつけていること	「現代社会におけるスポーツの意義」 「国際的なスポーツ大会の意義と役割」 「人びとを結ぶスポーツ」	主体的に学習に取り組む 態度 思考・判断・表現 知識・技能	○文化としてのスポーツの意義について理解している ※スポーツは、文化的な生活を営みよりよく生きていくために重要であることを理解している ※オリンピックやパラリンピック及び国際的なスポーツ大会などは、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしていることを理解している ※スポーツは、民族や国、人種や性、障害の違いなどを超えて人々を結びつけていることを理解している	授業態度 発言内容 学習プリント 期末考査
保健・ 体育理論	2 学期	保健 ⑤感染症の予防と健康を守る社会の取り組み	○健康な生活と疾病の予防について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断するとともに、それらを表現すること	「感染症と病原体」 「感染症と体の抵抗力」 「感染症の予防」 「性感染症とその予防」 「エイズとその予防」 「保健機関とその利用」 「医療機関とその利用」 「医薬品の正しい使い方」	主体的に学習に取り組む 態度 思考・判断・表現 知識・技能	○健康な生活と疾病の予防について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断するとともに、それらを表現することができる	授業態度 発言内容 学習プリント 期末考査
	3 学期	保健 ⑥環境の健康への影響	○健康と環境に関する情報から課題を発見し、その解決に向けて思考し判断するとともに、それらを表現すること	「環境の変化への体の適応」 「気象情報の適切な利用」 「快適で効率のよい環境」 「室内の空気の汚染と換気」 「衛生的な飲料水の供給」 「し尿とごみの処理」 「災害と環境」 「私たちの生活と環境問題」	主体的に学習に取り組む 態度 思考・判断・表現 知識・技能	○健康と環境に関する情報から課題を発見し、その解決に向けて思考し判断するとともに、それらを表現することができる	授業態度 発言内容 学習プリント 学年末考査

令和8年度 年間指導計画・評価計画 【3年 技術科】 担当：齋藤優太

評価の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名【教材名】	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	評価の観点	評価規準	評価方法
1 学期		ガイダンス ・学習の見通し ・授業の約束ごとの確認					
	4 月	生物育成の技術 ・生物を育てる技術を見つけよう ・生物を育てる技術を知ろう	生物育成の技術の見方・考え方を働かせた実践的・体験的な活動を通して、生活や社会で利用されている生物育成の技術についての基礎的な理解を図り、それらに係る技能を身に付け、生物育成の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深めるとともに、生活や社会の中から生物育成の技術に関わる問題を見いだして課題を設定し解決する力、よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に生物育成の技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を身に付ける。	B (1) アイ B (2) アイ	知識・技能	・作物、動物および水産生物の成長、生態などについて科学的な原理・法則を理解している。	定期テスト
		・実習や見学の安全な進め方を知ろう ・育ててみよう			思考・判断・表現	・技術に込められた問題解決の工夫について考えている。	ワークシート 定期テスト
	5 月	・生物を育てる技術の工夫を調べ考えよう ・生物育成の計画を立てよう ・計画に沿って作物を栽培しよう			主体的に学習に取り組む態度	・進んで生物育成の技術と関わり、主体的に理解し、技能を身に付けようとしている。	ワークシート 行動観察
	6 月	・家畜や水産生物を育てる技術を体験しよう ・社会の発展と生物育成の技術			知識・技能	・ベビーリーフの育成を通して、生物の育成環境を調節する方法などの基礎的な技術の仕組みを理解している。 ・ベビーリーフの育成を通して、実習の安全な作業の進め方を身に付けている。 ・育成計画の考え方や手順を理解している。	ワークシート 定期テスト
	7 月				主体的に学習に取り組む態度	・自分なりの新しい考え方や捉え方によって知的財産を創造し、他者の新しい考え方や捉え方も知的財産として尊重し、またそれらを保護・活用しようとしている。 ・自ら問題解決とその過程を振り返り、よりよいものとなるよう改善・修正しようとしている。	ワークシート 行動観察

令和8年度 年間指導計画・評価計画 【3年 技術科】 担当：齋藤優太

評価の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名（教材名）	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	評価の観点	評価規準	評価方法
2 学 期	9 月 （ 5 月）	情報の技術 ・計測・制御システムの技術を知ろう ・計測・制御システムの設計のしかたを知ろう ・設計に沿った計測・制御システムを製作しよう 「マグカップデザイン製作」	情報の技術の見方・考え方を働かせた実践的・体験的な活動を通して、生活や社会で利用されている情報の技術についての基礎的な理解を図り、それらに係る技能を身に付け、情報の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深めるとともに、生活や社会の中から情報の技術に関わる問題を見いだして課題を設定し解決する力、よりよい生活や地域社会の構築に向けて、適切かつ誠実に情報の技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を身に付ける。	D（3）アイ	知識・技能	・計測・制御の仕組み等の原理・法則を理解している。	定期テスト
					主体的に学習に取り組む態度	・進んで情報の技術に関わり主体的に理解し、技能を身に付けようとしている。	ワークシート 行動観察
					知識・技能	・設計の考え方や手順を理解している。	定期テスト
					思考・判断・表現	・技術の見方・考え方を働かせて、生活の中から問題を見いだして課題を設定している。	定期テスト ワークシート
	1 0 月 （ 6 月）				主体的に学習に取り組む態度	・自分なりの新しい考え方や捉え方によって知的財産を創造し、他者の考え方や捉え方も知的財産として尊重し、またそれらを保護・活用しようとしている。	ワークシート 行動観察
					知識・技能	・安全・適切にプログラムの制作、動作の確認ができる。	作品
	1 1 月 （ 7 月）				知識・技能	・知的財産、ユニバーサルデザイン等の観点から製作品を見直すことができる。	定期テスト
					・主体的に学習に取り組む態度	・自らの問題解決とその過程を振り返り、よりよいものとなるよう他者と協働して粘り強く改善・修正しようとしている。	ワークシート 行動観察
	12 月						

令和8年度 年間指導計画・評価計画 【3年 技術科】 担当：齋藤優太

評価の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名（教材名）	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	評価の観点	評価規準	評価方法
3 学期	1 月	情報の技術 ・双方向性のあるコンテンツの 技術を知ろう ・双方向性のあるコンテンツの 設計のしかたを知ろう ・設計を図で表す方法を知ろう ・設計に沿った双方向性のある コンテンツを製作しよう	情報の技術の見方・考え方を働かせた実践 的・体験的な活動を通して、生活や社会で 利用されている情報の技術についての基礎 的な理解を図り、それらに係る技能を身に 付け、情報の技術と生活や社会、環境との 関わりについて理解を深めるとともに、生 活や社会の中から情報の技術に関わる問題 を見いだして課題を設定し解決する力、よ りよい生活や地域社会の構築に向けて、適 切かつ誠実に情報の技術を工夫し創造しよ うとする実践的な態度を身につける。	D（2）アイ	知識・技能	・情報通信ネットワークの構成と、情報を利用する ための基本的な仕組みについて理解している。	ワークシート 定期テスト
					知識・技能	・コンテンツに用いる各種メディアの基本的な特徴 について理解している。	定期テスト
					知識・技能	・設計の考え方や手順を理解している。	定期テスト
					思考・判断・表 現	・情報の技術の見方・考え方を働かせて、地域社会 の中から問題を見いだして課題を設定している。	ワークシート
	2 月	思考・判断・表 現			・課題を解決するために、条件を踏まえて適切なメ ディアを選択し、構想を具体化して設計や計画をま とめている。	ワークシート 定期テスト	
		主体的に学習に 取り組む態度			・自分なりの新しい考え方や捉え方によって知的財 産を創造し、他者の考え方や捉え方も知的財産とし て尊重し、またそれらを保護・活用しようとしてい る。	ワークシート 行動観察	
3 月	主体的に学習に 取り組む態度	・自らの問題解決とその過程を振り返り、よりよい ものとなるよう他者と協働して粘り強く改善・修正 しようとしている。	ワークシート 行動観察				

令和8年度 年間指導計画・評価計画 【 3 年 家庭科 】 担当：狩野真紀子

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名【教材名】	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
1 学期	4・5 月	A 家族・家庭生活 1 自分の成長と家族・ 家庭生活 ①今の自分とこれまで	・自分の成長と家族や地域の 人々とのかかわりと、自分自身 の理解を深める。	A (1) ア	①知識・技 能 ②思考・判 断・表現 ③主体的に 学習に取り 組む態度	・自分の成長は家族をはじめ、多くの 人に支えられ、影響を受けてきたこと に気づいている。	授業への 取り組み 期末試験 提出物
	6 月	A 家族・家庭生活 2 幼児の生活と家族 ①幼児のころと今の自 分 ②幼児の体の発達 ③幼児の心の発達 おもちゃの製作	・幼児の体の発達、心の発達の 特徴について理解できる。	A (2) ア (ア)	①知識・技 能 ②思考・判 断・表現 ③主体的に 学習に取り 組む態度	・幼児の体の発達、心の発達について 理解している。 ・発達には一定の方向と順序があり、 個人差があることをふまえて理解す る。	授業への 取り組み 期末試験 提出物
	7 月						

令和8年度 年間指導計画・評価計画 【 3年 家庭科 】 担当：狩野真紀子

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名（教材名）	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
2 学期	9 月	A 家族・家庭生活 ④発達にとってのおと なの役割 ・おもちゃの製作	・幼児の生活習慣について理解 できる。	A (2) ア (ア)	①知識・技 能 ②思考・判 断・表現 ③主体的に 学習に取り 組む態度	・基本的な生活習慣、社会的な生活習 慣について理解している。それが自分 に身についたのは一長一短ではないこ とを学ぶ。	授業への 取り組み 期末試験 提出物
	10 月	A 家族・家庭生活 ⑤遊びが必要なわけ ⑥遊びを支える環境 ・おもちゃの製作	・幼児の遊びの意義について理 解できる。	A (2) ア (イ)	①知識・技 能 ②思考・判 断・表現 ③主体的に 学習に取り 組む態度	・遊びの意義がわかる。 ・幼児は遊びにより人間として必要な 基本的なことがらを学んでいくことを 理解する。	授業への 取り組み 期末試験 提出物
	11 月	B 衣生活 ・生活を豊かにする物 の製作	・生活を豊かにするような布を 用いた物の製作について計画を たてることができる。	B (5) ア (イ)	①知識・技 能 ②思考・判 断・表現 ③主体的に 学習に取り 組む態度	・製作について考え、工夫している。 ・製作について実践を評価したり、改 善したりしている。	授業への 取り組み 期末試験 提出物
	12 月						

令和8年度 年間指導計画・評価計画 【 3年 家庭科 】 担当：狩野真紀子

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名（教材名）	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
3 学期	1 月	A家族・家庭生活 幼児のおやつをつくる	・ 幼児のおやつの意義について考 え、調理することができる。	(2) ア (イ)	A ①知識・技 能 ②思考・判 断・表現 ③主体的に 学習に取り 組む態度	・ 幼児のおやつの特徴を理解し、作 る。	授業への 取り組み 期末試験 提出物
	2 月	C消費生活・環境 1 家 庭生活と消費 2 購入・支払いと生活 情報 3 消費者被害と消費者 の自立	・ 契約について理解できる。 ・ 様々な販売方法と支払方法の 特徴について理解できる。 ・ 商品を適切に選択、購入、活 用することができる。 ・ 消費者トラブルの事例とその 解決方法を理解できる。	C (1) アイ (2) アイ A (3) ア (ア (イ)	①知識・技 能 ②思考・判 断・表現 ③主体的に 学習に取り 組む態度	・ 生活にかかるお金の収入と消費のバ ランスの大切さを知る。 ・ さまざまな購入・支払方法について 知り、消費生活のトラブルを防ぐ方法 を考えることはできる。 ・ 消費者の権利と責任について理解す る。	授業への 取り組み 期末試験 提出物
	3 月						

令和8年度 年間指導計画・評価計画

【3年 英語科】

担当：関口 夕貴

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名【教材名】	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
1 学期	4 月	○Unit0: Discover a New Side of Classmates	・クラスメイトの新しい一面を知るために、最近夢中になっていることや、よくすること、その理由などについて伝え合うことができる。	言語活動 アイウエ 言語材料 アウエ	L・R・S I・ S P・W L=聞くこと R=読むこと S I=やりとり S P=発表・ W=書くこと	知) 現在形や過去形、becauseなどを用いた文の形・意味・用法を理解している。 技) またねらいの内容を伝え合う技能を身に付けている。 思) ねらいの内容について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝え合ったり、尋ねたり、答えたりしている。 態) ねらいの内容について伝え合ったり、たずねたり答えたりしようとしている。	・活動の観察 ・ペアワーク ・グループワーク ・Q&A ・提出物 ・定期考査
	5 月	○Unit 1: What is special about Japanese pop culture? ○Unit Activity 1 ○Real Life English 1: ディスカッション ○Learning Japanese in English	・日本のポップカルチャーの魅力について経験や感想と共に伝えることができる。 ・既習の時制（現在形・過去形）と、新出の現在完了形の違いを理解し、場面に応じて使い分けることができる。 ・ディスカッションを開き、自分の意見をまとめるために必要な情報を理解することができる。 ・世界に広がる日本語と日本文化について理解するために、英語俳句について理解したり英語俳句を詠んだりすることができる。	言語活動 アイウエ 言語材料 アウエ	L・R・S I・ S P・W L=聞くこと R=読むこと S I=やりとり S P=発表 W=書くこと	知) 現在完了形（経験）を用いた文、SVOC、SV00の文の形・意味・用法を理解したうえで、経験や人の気持ちや状態の変化、人やものについて伝え合う技能を身につけている。思) 海外の人に日本に興味を持ってもらうために、日本のポップカルチャーの魅力について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて話している。思) 自分の意見をまとめて述べるのに必要な情報を理解するために、修学旅行の班行動で行きたい場所についての話し合いを聞いて、要点を捉えている。態) 「思考」部門の内容について、簡単な語句や文を用いて話そうとしている。	・活動の観察 ・ペアワーク ・グループワーク ・Q&A ・発表 ・提出物 ・小テスト ・定期考査
	6 月	○Unit 2: How do you choose your clothes? ○Unit Activity 2 ○Real Life English 2: 講演 ○Grammar for Communication 1 (現在完了形、現在完了進行形)	・人や環境にやさしいファッションの取り組みについて説明することができる。 ・社会的な話題に関する講演を開き、話し手の伝えたい内容を理解することができる。 ・現在完了型、現在完了進行形を用いた文の形・意味・用法を復習し、理解を確かめる。	言語活動 アイウエ 言語材料 アウエ	L・R・S I・ S P・W L=聞くこと R=読むこと S I=やりとり S P=発表 W=書くこと	知) 現在完了形（完了・継続）、現在完了進行形・It...for~to, want人to~やlet人動詞の原形、を用いた文の形・意味・用法を理解し、使用する技能を身につけている。思) エシカルな商品の特徴や長所を伝えるために、エシカルな商品をPRするためのポスターを、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて書いている。思) 話し手の伝えたい内容を理解してまとめることができるように、社会的な話題についての講演を聞いて要点を捉えている。態) 「思考」部門の内容についての事実や自分の考えなどを簡単な語句や文を使って書こうとしている。	・活動の観察 ・ペアワーク ・グループワーク ・Q&A ・スピーキングテスト ・提出物 ・定期考査
	7 月	○Unit 3: How can we save animals? ○Unit Activity: 3 ○Real Life English 3: グラフ や表の活用 ○Learning Science in English ○Grammar for Communication 2 (不定詞)	・私たちににとって大切なことを考えるために、絶滅のおそれのある動物について書かれた文章の概要を捉えたり、自分の考えを伝え合ったりすることができる。 ・資料から読み取った情報について、事実と意見を分けて書くことができる。 ・生態系に起こっている問題を知るために、日本に住むシカの数について書かれた文章の概要を読み取ったり、食物連鎖について説明したりして、自分の考えを述べるすることができる。 ・不定詞を用いた文の形・意味・用法を復習し、理解を確かめる。	言語活動 アイウエ 言語材料 アウエ	L・R・S I・ S P・W L=聞くこと R=読むこと S I=やりとり S P=発表 W=書くこと	知) 不定詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。 思) 多くの人に絶滅のおそれのある動物の現状を知ってもらうために、減少の主な原因やその動物を守るために必要だと思うことについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて記事を書いている。思) 日本国内の絶滅の恐れのある動物について感想や意見をまとめるために、資料から読み取った情報について事実と意見とを整理し、まとまりのあるレポートを書いている。態) 思考の内容を実践しようとしている。	・活動の観察 ・ペアワーク ・グループワーク ・Q&A ・発表 ・提出物 ・定期考査

令和8年度 年間指導計画・評価計画

【 3年 英語科 】

担当：関口 夕貴

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名（教材名）	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
2 学 期	9 月	○Unit 4: How can we help each other in a disaster? ○Unit Activity 4 ○Real Life English 4: 町中での手助け ○Learning Art in English	・防災・安全への意識を高め、地域の一員として取るべき行動を考えて伝え合うことができる。 ・相手の立場に立って、具体的な提案をしながら申し出たり応じたりすることができる。 ・絵が持つ力について考えるために、世界中に壁画を残す活動についての感想を伝え合うことができる。	言語活動 アイウエ 言語材料 アウエ	L・R・S I・ S P・W L＝聞くこと R＝読むこと S I＝やりとり S P＝発表 W＝書くこと	知) 関係疑問文とSV00(what節)の文、現在分詞・過去分詞を用いた文の形・意味・用法を理解したうえで、使用することができる。思) 防災・安全への意識を高めるために、地域の一員としての防災への取り組みについてどんな助け合いができるか、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて話している。思) 困っている相手に対して状況に合った手助けができるように、相手の立場に立った具体的な提案を申し出たり、相手からの質問に答えたりしている。態) 思考の内容を実践しようとしている。	・活動の観察 ・ペアワーク ・グループワーク ・Q&A ・提出物 ・小テスト ・定期考査
	1 0 月	○Unit5: What makes a good leader? ○Unit Activity 5 ○Real Life English 5: 記事への意見 ○Grammar for Communication 3 (後置修飾)	・ガンディーの功績を知り、平和や人種の大切さを考えることができる。 ・関係代名詞等を使った名詞の修飾の仕方を理解し、人物についての説明を読み取ったり、説明を付け加えたりすることができる。 ・社会的な問題について、理由や根拠を含めて自分の意見を書くことができる。 ・後置就職を用いた文の形・意味・用法を復習し、理解を確かめる。	言語活動 アイウエ 言語材料 アウエ	L・R・S I・ S P・W L＝聞くこと R＝読むこと S I＝やりとり S P＝発表 W＝書くこと	知) 名詞を修飾する文、関係代名詞[who, that, which (主格・目的格)]・後置修飾を用いた文の形・意味・用法を理解している。思) 理想のリーダーとはどのような人かを伝えるために、理想のリーダーであるための情報について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて話している。思) 社会的な話題に関する英文について意見を伝えられるように、賛成か反対か自分の立場を決めて、その理由や根拠を整理し、投稿文を書いている。)「思考」部門の内容についての事実や自分の考えなどを整理し、簡単な語句や文を使って書こうとしている。	・活動の観察 ・ペアワーク ・グループワーク ・Q&A ・発表 ・提出物 ・小テスト ・定期考査
	1 1 月	○Unit6: What does it mean to be a global citizen? ○Real Life English 6: テレビの国際ニュース ○Unit Activity 6 ○Learning Social Studies in English ○Grammar for Communication 4	・世界の子供たちの状況を理解するために、願いについて書かれた文を理解したり、自分の願いを伝えたりすることができる。 ・ニュースなどのテレビ番組の音声聞いて、概要や要点を理解することができる。 ・世界の現状について理解するために、世界を人工100の村だと仮定して、聞き取れた内容を理解し、自分の感想や考えをまとめて話している。 ・仮定法を用いた文の形・用法・意味を復習し、理解を確かめる。	言語活動 アイウエ 言語材料 アウエ	L・R・S I・ S P・W L＝聞くこと R＝読むこと S I＝やりとり S P＝発表 W＝書くこと	知) 仮定法と関係代名詞を用いた文の形・意味・用法を理解し、現実とは異なる願いや仮定の話を伝える技術を身に付けている。思) 国を超えて助け合うことの大切さについて考えるために、地球市民としての抱負について、事実や自分の願い、思いを整理し、簡単な語句や文を用いて伝え合っている。思) 自分の言葉で説明できるように、ニュースなどのテレビ番組の音声聞いて、概要や要点を捉えている。態) ねらいの内容について伝え合ったり、たずねたり答えたりしようとしている。	・活動の観察 ・ペアワーク ・グループワーク ・Q&A ・スピーキングテスト ・提出物 ・定期考査
	1 2 月	○Let's Read 1: A Mother's Lullaby	・物語を読んで、場面の変化や登場人物の心情などを理解し、気持ちを込めて音読することができる。	言語活動 アイウエ 言語材料 アウエ	L・R・S I・ S P・W L＝聞くこと R＝読むこと S I＝やりとり S P＝発表 W＝書くこと	知) 場面や心情を表す表現を理解している。思) 気持ちを込めて音読することができるように、背景知識を使い、物語の流れに沿った場面の変化や登場人物の心情が書かれた文章の概要を捉えている。	・活動の観察 ・ペアワーク ・グループワーク ・Q&A ・発表 ・提出物 ・小テスト ・定期考査

令和8年度 年間指導計画・評価計画 【3年 英語科】 担当：関口 夕貴

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名（教材名）	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
3 学 期	1 月	○Let's Read 2: Power Your Future	・エネルギー問題に関する説明文を読んで、概要を理解し、自分の考えや意見を述べるができる。	言語活動 アイウエ 言語材料 アウエ	L・R・S I・ SP・W	知) 長所と短所を比較して述べる文章の構成を理解している。 思) 自分にできることや感想などを述べるができるように、様々なエネルギー問題について書かれた説明文の概要を捉えている。	・活動の観察 ・ペアワーク ・グループワーク ・Q&A ・発表 ・提出物 ・小テスト ・定期考査
					L=聞くこと		
					R=読むこと		
					S I=やりとり		
					SP=発表		
					W=書くこと		
	2 月	○Let's Read3: Coloring Your Future	・伝記を読んで、人物の歩みや功績を読み取り、自分の感想を述べるができる。	言語活動 アイウエ 言語材料 アウエ	L・R・S I・ SP・W	知) 人物について書かれた伝記の文章校正を理解している。 思) 自分の感想を述べるができるように、エリック・カールについて書かれた伝記を読んで、その歩みや功績と、彼の絵本にこめられたメッセージを読み取っている。	・活動の観察 ・ペアワーク ・グループワーク ・Q&A ・提出物 ・スピーキングテスト ・定期考査
					L=聞くこと		
					R=読むこと		
					S I=やりとり		
					SP=発表		
					W=書くこと		
	3 月	○Stage Activity: My Activity Report ○中学校の総まとめ	・これまでの経験をふり返って活動報告を発表することができる。 ・教科書の付録教材や副教材を活用して、3年間の総復習を行い、自分の表現を相手に的確に伝えることができる。 ・自分に合った英語の学習方法を見つけて、楽しく英語を学び続けるきっかけを作る。	言語活動 アイウエ 言語材料 アウエ	L・R・S I・ SP・W	知) 中学校3年間で学んだ単語や・文法表現を活用して、自分の意見を相手に表現したり、書いたりすることができる。 思) 自分のことをよりよく知ってもらうために、部活動や委員会の活動について、活動報告の構成を理解したうえで、自分の経験や感想などを即興で話したり、まとまりのある文章を書いて発表したりしている。 態) 楽しく英語を学ぶ続けるために、自分の合った英語の学習方法を見つけ、実際に取り組もうとしている。	・活動の観察 ・ペアワーク ・グループワーク ・Q&A ・発表 ・提出物 ・小テスト
					L=聞くこと		
					R=読むこと		
					S I=やりとり		
					SP=発表		
					W=書くこと		